

●巻頭インタビュー

# 外国人の立場から 東日本大震災をふりかえる会

「外国人の立場から東日本大震災をふりかえる会」(以下「ふりかえる会」と略します)は、宮城県内(特に沿岸部)に住む外国人に被災の瞬間やその後の体験(辛かったこと、心に残ったことなど)を母語で話してもらうことで、それぞれの「3.11体験」を参加者相互で共有し、今後活かしていただくために宮城県国際交流協会が企画、開催しました。開催日程と会場は以下の通りです。

- 5月17日(火) 仙台エリア編: 宮城県仙台合同庁舎(仙台市青葉区堤通兩宮町)
- 6月06日(月) 仙南エリア編: サッポロビール仙台工場会議室(名取市手倉田)
- 6月09日(木) 気仙沼エリア編: 気仙沼駅前コミュニティセンター(気仙沼市古町)
- 6月14日(火) 南三陸・登米編: ホテルニューグランヴィア(登米市迫町佐沼)
- 6月17日(金) みやぎ外国籍県民大学OG編: エル・パーク仙台(仙台市青葉区一番町)
- 6月23日(木) 石巻エリア編: こ〜ぷのお家いしのまき(石巻市向陽町)

上記6つの会場に220人を超える在住外国人の方々がいらっしゃいました。今回の倶楽部MIAでは、この「ふりかえる会」で話された内容を抜粋してお届けします。

※各コメントの最後は(話者の居住市区町村・出身国)を表します。

●地震前・地震発生直後

- ・地震の時は畑に逃げるようにと以前から夫に言われていました。(登米・韓国)
- ・避難勧告をもっと強力にやっていたらと悔しく思っています。みんないつもと同じと思って避難せず、そのせいで私の近所の方もたくさん亡くなりました。(若林区・フィリピン)

●恐怖

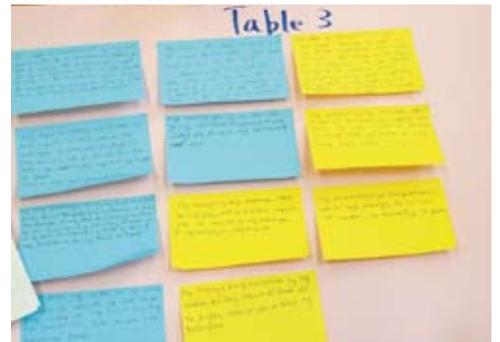
- ・地震後、職場の上司に家に帰るように言われました。ですが、車が途中から大渋滞となり、なぜだろうと思っていたら、10メートルほど後ろを走っていた車が津波にのみ込まれていました。その何秒後かに自分が乗っていた車も水の上に浮かび上がり、くるくる回転し始めました。がんばって車から抜け出し、瓦礫の上に登っていた人の手につかまって、何とか助かりました。(気仙沼・フィリピン)
- ・地震後の夜の市街地の火事と余震のたびに起こる地鳴りが怖かったです。(気仙沼・韓国)
- ・最も恐ろしかったことは情報が全くなかったということ、このような精神的な恐怖感はほんとうに怖かったです。(気仙沼・中国)
- ・地震の経験がなかったので、食料、日用品などの用意がなく、慌てました。(登米・中国)
- ・多くの人が溺れているのを見ました。浮輪があったら救助ができたのに…映画を見ているようであまりにも衝撃的でした。それをただただ見ていることしかできず、情けなく思いました。(名取・韓国)

●安堵

- ・仕事で福島に行っていた夫が4日後に帰ってきました。地獄から生き返っ



気仙沼会場。フィリピン出身者が、長尾弁護士(左)と櫻井行政書士(右上)と記念撮影。



黄色の紙にはうれしかったこと、青色の紙には不安だったことをそれぞれ書き出していただきました。

たような気持でした。(気仙沼・韓国)

- ・1週間家族に会えませんでした。ひとりぼっちになったと思いました。子どもたちに会えた時は本当にうれしかったです。(女川・ベレー)
- ・電気・水道が使えるようになったときはとてもうれしかったです。(登米・韓国)
- ・友だちや日本語講座の先生たちと話したいとずっと思っていたので、「ふりかえる会」で会えてとてもうれしいです。(石巻・フィリピン)

●不便・ストレス

- ・情報もなかなか入りにくく、ほとんど友達から聞いた情報に頼っていました。ラジオも聞いていましたが、難しい話はよく分かりませんでした。(気仙沼・フィリピン)
- ・E-mail、インターネット、電話、連絡手段がすべて失われましたし、お店が開いてなかったり、買い物時間や買える品数に制限があったりして不便でした。(気仙沼・アメリカ)
- ・食べ物を買うために長い行列に並びましたが、一緒に並んでいたお年寄りが気の毒でした。(登米・韓国)
- ・電気がないことが不便でした。1歳の子どもの暗いところに慣れていないので、なかなか寝てくれず、毎日たいへんでした。(登米・イギリス)
- ・酪農を営んでいて200頭ほど牛を飼っています。断水のために牛に飲ませる水がなくなり5日間も用水路から水を汲んできて飲ませました。それがいちばん大変でした。(川崎・韓国)
- ・電話が通じなくて、コミュニケーションの手段を失って、永遠に隔離されるような感じがしました。震災を目撃してからというもの将来への不安からあまり眠れなくなっていました。(石巻・タイ)

被災してから避難所を2か所回って、現在借家で家族と暮らしています。被災当時を思い出すのもつらいです。乏しい情報の中、子どもと自分が生き延びるので精一杯でした。災害弱者というのは、まさしく私たちのことです。子どもが体調を崩しても満足に診療を受けることができませんでした。学校はどうなるかととても心配でした。(東松島・台湾)

●喪失

- ・早く以前のようなきれいで美しい気仙沼に戻ることを祈っています。(気仙沼・チリ)
- ・3月11日の大震災で最愛の夫を奪われてしまいました。本当につらく、言葉には表せない思いをしています。(山元・中国)
- ・持っているものすべてを失ったことは悲しいです。生きてはいますが、津波で犠牲になった知り合いのことを考えると悲しくなります。町は90%が止まっている状態だし、多くの方々が仕事を失っていて、生活がどう立て直せるのかが全く見えません。(南三陸・フィリピン)
- ・知人に会っても「大丈夫ですか?」と聞くのが怖いところに住んでいます。自宅は大川小学校から車で20分ほどのところにあります。近所の方々とは「生き残ったね!」と声を掛け合っています。(石巻・韓国)

●不安

- ・被災して仕事を失い、東京の大学に通う娘の学費や仕送りが苦しいです。授業料が免除されるかどうか分からないので…(気仙沼・中国)
- ・仕事もなくなり、どうしていいか途方に暮れています。夜なかなか眠れず、つい先日まで友だちが津波に流される夢を見ていました。(気仙沼・韓国)

●母国

- ・韓国から「帰ってきなさい」という電話が頻繁にきましたが、日本での生活が長く地震の経験もありましたので大丈夫と答えました。ただ原発の事故は怖かったです。今は状況が分かっているので心配していません。(登米・韓国)
- ・原発事故による放射能問題で、中国の親族から「早く子供を連れて中国に帰ってきて」という電話がたくさんありました。ですが、今回いちばん辛い思いをしているのは逃げ場がない被災地の日本人だと思いました。もうこれ以上、夫や夫の両親を悲しませたくないと思い、中国の親族を説得して日本に残りました。(登米・中国)

●日本・日本人

- ・周りの人たちのことを考えてお互い手伝っていて感じました。あんなに辛い経験をしたのに、声を出して泣く姿を見かけませんでした。すぐ気持ちを切り替えて動き出しているように見えたのですが、もっと悲しみをストレートに表現してもいいのでは…(気仙沼・韓国)
- ・地震直後、近所の人々がすぐにお年寄りと子供を集会所に集めました。食べ物を持ち寄って、一緒に料理をして食べました。日本人の助け合いの精神や温かさを実感しました。日本での生活がもっと好きになりました。(登米・中国)
- ・コインパーキングに停めていた車が停電で出せなくなりました。仕方がないので一緒にいた中国人5人で力を合わせて車を出しました。する

と、それを見ていた日本人から助けてほしいと頼まれ、結局5台を駐車場から出しました。これは日本人にはできない発想だったのかと思います。(石巻・中国)

●家族

- ・いつも遊びに出かけてしまう夫が被災後は24時間一緒にいてくれたので、新婚のようでした。(川崎・韓国)
- ・今回の地震で主人のありがたさと頼もしさを感じました。いつもは間違えて買った物も恥ずかしくて交換に行けないような人でしたが、家族のために公民館に並んで配給のおにぎりをもらってきたり、自転車で遠いところまで行って水を汲んできてくれたり…(大河原・韓国)

●支援

- ・日本語講座の仲間たちとキムチを持って沿岸部の避難所にボランティアに行ってきました。(登米・韓国)
- ・通訳のボランティアをするために2時間かけて歩いて往復しました。その間、知らない人と話しました。普段日本人は知らない人とは話させませんが、人間みな同じだと感じました。(泉区・中国)

●希望

- ・フィリピン同士が一つになって、お互い助け合うようになりました。(気仙沼・フィリピン)
- ・私たちを支援してくれるたくさんの方にお会いでき、ひとりじゃないと感じました。生きていてよかったです。(南三陸・フィリピン)
- ・人と人との間には無形の力があり、未来への希望が満ちていると感じました。今回の震災で、こんなにもたくさん心ある方がいらっしゃり、さらには世界各国の方々からご心配いただき、とても温かい気持ちになりました。(山元・中国)

●感謝

- ・世界中の方々から様々な支援があり、感謝しています。(登米・中国)
- ・初めの3日間は泣いていましたが、もう泣きません。今日の涙はうれし涙です。私が暗い顔をするとみんなが暗くなります。私が泣けばみんな泣きます。ですから、進んで明るくならうと思いました。本当にたくさんの方々から支援物資を送ってくださり、ありがたく思っています。嬉しくて涙が出るほどです。(南三陸・フィリピン)



石巻編は定員を超えるたくさんの方がいらっしゃいました。



資生堂による顔・手のマッサージはどの会場でも大好評でした。名取には副社長もお越しになり(手前左)自らマッサージをしてくださいました。

なお、この「ふりかえる会」には、各地域の自治体、国際交流協会、日本語講座の方々に広報や参加者の取りまとめなどで多大なるご協力を頂きました。一方、各会場には在住外国人の生活復興応援団として、宮城県警、申請取次行政書士、弁護士、臨床心理士も参加し、それぞれの専門分野におけるアドバイスをして頂きました。また、ご来場の在住外国人にはNPO法人「FMわいわい」様から提供があった災害時用多機能ラジオをお配りし、さらに「お肌のケアは心のケア」と題して、株式会社資生堂様から同社社員および美容部員による顔または手のマッサージと数か月分の基礎化粧品のセットを来場者全員にプレゼントして頂きました。ご協力くださいました皆様にこの場を借りて改めてお礼申し上げます。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2011年8月～9月の活動予定をご紹介します。

※震災の影響でイベントの日程変更や開催中止が考えられますので、主催者との確認をお願いします。

## MIAイベントカレンダー

2011	8	S	M	T	W	T	F	S	9	S	M	T	W	T	F	S	
	8		1	2	3	4	5	6	9						1	2	3
		7	8	9	10	11	12	13		4	5	6	7	8	9	10	
		14	15	16	17	18	19	20		11	12	13	14	15	16	17	
		21	22	23	24	25	26	27		18	19	20	21	22	23	24	
		28	29	30	31					25	26	27	28	29	30		

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

HP

ホームページ

## 8月 AUGUST

5日

## 第42回仙台七夕花火祭

- 主催 公益社団法人仙台青年会議所
- 会場 西公園付近一帯および広瀬川周辺
- 時間 19:15打上げ
- 不要
- 参加費 無料 ※有料観覧席あり
- 電話 022-222-9788
- FAX 022-222-9786
- Eメール office@sendai-jc.or.jp
- HP http://www.sendai-jc.or.jp/hanabi2011/

9日

## “仙台の三十三観音堂”専用御朱印帖の作製教室

- 主催 NPO法人 楽遊ネットワーク宮城
- 会場 NPO法人 楽遊ネットワーク宮城事務局
- 時間 10:00～12:00
- 電話・FAX・E-mail (材料を準備する関係上前日までにお願いします)
- 参加費 3,000円(印刷済み本文・和紙等全材料費込み)
- 電話 022-261-9869
- FAX 022-261-0546
- Eメール eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
- HP http://www.eikaiwa-usaclub/rakuyuusub.htm

17日 申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

- 主催 宮城県行政書士会

- 会場 仙台市青葉区役所4階市民相談室
- 時間 13:00～16:00
- 電話受付可。予約なしでもOK。
- 参加費 無料
- 電話 022-261-6768
- FAX 022-276-2258

## 9月 SEPTEMBER

1日

## MIA日本語講座秋コース(中級)

- 主催 財団法人宮城県国際交流協会
- 会場 宮城県仙台合同庁舎7階
- 時間 13:00～15:00(毎週水・木)
- 電話・FAX・E-mail
- 参加費 8,400円
- 電話 022-275-3796
- FAX 022-272-5063
- Eメール mia@k2.dion.ne.jp
- HP http://www.h5.dion.ne.jp/~mia/

6日

## MIA日本語講座秋コース(初級1・2)

- 主催 財団法人宮城県国際交流協会
- 会場 宮城県仙台合同庁舎7階
- 時間 10:00～12:00(毎週火～金)
- 参加費 16,500円
- 電話・FAX・E-mail ※9月1日に同じ

9日

## MIA日本語講座秋コース(漢字1・2)

- 主催 財団法人宮城県国際交流協会

- 時間 13:00～15:00(毎週金)
- 参加費 5,600円
- 電話・FAX・E-mail ※9月1日に同じ

15日

## 山姥からマリアまで

- 主催 アフリカ・セミナーの会
- 会場 仙台国際センター
- 時間 10:00～12:00
- 不要
- 参加費 700円
- 電話・FAX 022-362-7907

21日

## 申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

- 主催 宮城県行政書士会
- 電話・FAX・E-mail ※8月17日に同じ

22日

やさしい日本語で理科の実験  
～科学のめて絵本をみてみよう～

- 主催 Pluto
- 会場 びいかぼう絵本の部屋「野ばら」(柴田町船岡)
- 時間 13:30～15:30
- 9月13日まで FAXのみ(名前、住所、電話番号、学年)
- 参加費 無料 親子参加(小学生以下)成人16名
- FAX 0224-55-5729(平日10:00～16:00)



## JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp JICA東北ホームページ http://www.jica.go.jp/tohoku/

## 「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2011」 「グローバル教育コンクール2011」 応募作品募集中

## 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2011

本コンテストは、次の世代を担う全国の中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会の中で日本、そして自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えることを目的として実施しています。

## ●募集テーマ「これからの日本～世界の中で私たちができること」

身近な生活の中にも、あなたと世界とのつながりが沢山存在しています。学校の授業、友達との会話、地域での出会い、本や新聞、テレビを通して知り、感じたこと、自分自身の体験から感じたことなど、自由な題材でああなたの想いを伝えてください。

募集期間:2011年6月16日(木)～9月16日(金) ※当日消印有効

詳しくはこちらまで ↓

http://www.jica.go.jp/hiroba/menu/essay/index.html

## グローバル教育コンクール2011

世界が抱える様々な問題について、それを自分たちの問題として考え、その解決のために自ら行動に移すことのできる人間を育成することを目的としたグローバル教育を実践する際に活用できる作品を皆様から募集します。本コンクールは昨年度まで外務省主催事業でしたが、本年度から当機構が実施します。世界に触れて感じた貴重な体験・活動を基にした、皆様からの作品応募をお待ちしています。

●応募部門は2部門です。「写真・映像」部門では、写真や映像を通して現地の人たちの暮らし、表情、そして言葉などと共に、「自分はこんなことを考えた、悩んだ!」というエピソードを添えて、ご応募ください。「国際協力レポート」部門では、学校での国際協力や教育への取り組みを始め、NPOやNGOなどの国内・海外での活動のレポートをお待ちしています。是非、皆様の貴重な体験を教育の力にお役立て下さい。

募集期間:2011年6月6日(月)～10月24日(月) ※郵送の場合、当日消印有効

応募部門:「写真・映像」部門、「国際協力レポート」部門

詳しくはこちらまで ↓

http://www.jica.go.jp/hiroba/menu/global\_edu/index.html



このコーナーでは、MIA宮城県国際交流協会の最近の動きをお知らせいたします。  
いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 E-mail mia@k2.dion.ne.jp まで。お気軽にどうぞ。

## MIAホームページがリニューアル

MIAはホームページ(URL:<http://www.h5.dion.ne.jp/~mia/>)が8月からリニューアルされます。  
同時に多言語のブログも新たにスタートしますので、ぜひ併せてご覧ください。



## MIA日本語講座2011秋コースがはじまります。

9月からMIAの日本語講座秋コースが始まります。みなさまのお近くに日本語を勉強したい外国人がいらしたら、ぜひご紹介ください。  
多言語(日英中韓)のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	テキスト	受講料	定員
初級1・2	火～金	10:00～12:00	9月7日(水)～12月15日(木) ※9月6日(火):クラス分けテスト	『みんなの日本語初級I』 『みんなの日本語初級II』	16,500円 ※テキスト代別	初級1・2 各20人
中級	水・木	13:00～15:00	9月1日(木)～12月14日(水)	『みんなの日本語中級I』	8,400円 ※テキスト代別	各20人
漢字1・2	金	13:00～15:00	9月9日(金)～12月16日(金)	毎回プリントを配布します。	5,600円	漢字1・2 各20人
夜間初級1 夜間初級2	火	18:30～20:30	10月11日(火)～ 2012年3月6日(火)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	12,000円 ※テキスト代別	初級1・2 各15人

### 多文化なトピック

## 東日本大震災における在住外国人の出国状況

東日本大震災のあと、多くの外国人が一時的に出国、または完全に帰国しました。法務省入国管理局のデータによれば、宮城県に住む外国人16,000人(外国人登録者数)のうち、30%にあたる約4,800人が出国(※1)しました。日本人以上に少ない情報で不安があおられ、さらに本国で日本とは異なる過激過剰な報道を見た家族や友人からしきりと帰国を求められるなどの背景があったようです。3月から4月にかけて「エアチケットがなかなか入手できない」といった話を私たちMIAでもよく聞きました。

再入国許可を取らずに帰国した留学生などの外国人のために、入国管理局では外務省と協力して特例として手続きを簡略化して査証(ビザ)の再発行を行っています。また、被災地域に住む外国人については、特段の手続きを経ずとも8月31日まで在留期間の延長が認められるなどの措置(※2)が取られています。

一方、法務省によれば震災後帰国した外国人技能実習生(全国で11,457人)のうち4月中の再入国はわずか5%程度にとどまっており、これまで実習生に依存傾向が強かった水産加工を含む食品製造、繊維・衣服、農業といった幅広い分野の産業構造には急激な変化がもたらされています。

(※1)3月11日から4月17日までに出国した人数。再入国許可を受け、同期間内に再入国した者はこの人数に含まれていません。

(※2)個別のケースについては、外国人在留総合インフォメーションセンター(TEL:0570-013904、IP・PHS・海外:03-5796-7112)。

平日8:30～17:15。対応言語は日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語。)に問い合わせてください。

## 賛助会員募集

MIA(財)宮城県国際交流協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人の輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- **賛助会員の資格**  
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- **賛助会員の区分と年会費**  
個人会員/1口 3,000円  
団体会員/1口 10,000円
- **賛助会員の特典**  
◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)  
◎「MIA多言語から版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)
- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加者の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引 (株)ジェイティービー 仙台支店 (株)ジェイティービー 東北石巻支店 宮交観光サービス(株) (株)日本通運 仙台旅行センター
- **入会方法**  
◎本協会あて御連絡ください。  
◎本協会の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



## 倶楽部 MIA vol.56

編集・発行 財団法人 宮城県国際交流協会  
〒981-0914  
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号  
宮城県仙台合同庁舎7階  
TEL 022(275)3796  
FAX 022(272)5063

E-mail [mia@k2.dion.ne.jp](mailto:mia@k2.dion.ne.jp) URL <http://www.h5.dion.ne.jp/~mia>